

令和4年度第2次補正
探究的学習関連サービス等利活用促進事業費補助金

探究的な学び支援 補助金2023

効果報告レポート

【事業者名】

HelloWorld株式会社

【サービス名称】

WorldClassroom

【サービスの機能分類】

区分B メインツール

2024年1月



世界の教室をつなぐ
オンライン国際交流プラットフォーム

授業が
変わる
世界が
広がる

世界の教室をつなぐ
WORLD CLASSROOM

■探究学習等サービスの概要

WorldClassroomは、世界の教室をつなぐオンライン国際交流プラットフォームです。

音声認識技術等を用いた英語プレゼン練習機能・スコアリング機能が搭載され、生徒それぞれのペースでプレゼン作成や英語を使った英語学習・探究学習に取り組むことができます。

教科書の単元と連動した各種テーマから生徒1人ひとりが具体的な課題を設定し、英語でのプレゼンを作成し、海外の学校とオンライン国際交流を行います。

国内に留まらず海外の生徒と意見を交わすことで、英語での「探究的な学び」を可能にします。生徒の学習意欲や海外志向性、英語力が向上する他、教教科指導や評価づけを効率化し、教員の業務負担軽減を実現します。



スピーキングの正確性を自動判定！ ALL Englishで探究活動！

海外の生徒に発表する原稿を作成 海外の生徒との協働学習を実現！

- ※弊社が運営をサポート
海外の同世代と国際交流
- 音読・プレゼン練習・スコアリング機能で
教員の業務負担を軽減 ※全ての教科書と連動可能
- 国際交流とシステムの活用により英語での探究が可能に！！
英語での探究により、海外志向性が向上

●課題の設定
地域の魅力・文化・SDGs等テーマから具体的な課題を設定します。

●情報の収集
海外の生徒とのプレゼン交流に向けて、調べ学習を行います。

●整理・分析
海外の生徒が興味を持つ内容を整理し、英語プレゼンを作成します。

●まとめ・表現
海外の生徒に英語でプレゼン・意見交換しお互いの考えを深めます。

主体性・学習意欲が向上

- 89.3% 英語を学習する目的が明確に
- 84.3% 世界の多様な文化をもっと知りたい
- 56.2% 英語でやりたい仕事が見つかった

実用性の伴った英語力の向上

- 75.9% 自分の考えを英語で表現可能に
- 79.1% 英語でコミュニケーションがとれるようになった
- 73.3% 教科書の音読がスムーズになった

教員の教科指導改善・業務負担軽減を実現

- 93.3% 教科指導・業務効率化に役立つ
- 77.8% 生徒に向き合う時間が増えた
- 84.4% 授業準備を効率化できた

■ 探究学習等サービスの概要

個別練習

課題設定・情報収集・整理

英語で探究活動を実施！

地域の魅力・文化・SDGs等テーマに基づき、生徒が関心のある課題を設定して、探究学習を実施します。海外の生徒との交流学习で探究内容を英語で話せるように、情報収集・情報整理・英語原稿作成・プレゼン練習まで行います。



交流前練習

音声認識技術を用いたプレゼン練習！

お手本になるネイティブの発音を聴きながらスピーキング練習ができます。生徒のスピーキングの正確性をシステムが自動で点数化します。練習の成果が可視化され、ゲーム感覚で生徒のやる気をかき立てます。



実践的交流

国際交流授業

海外の生徒に実際にプレゼン！

実際に海外の教室とオンラインで繋ぎ、探究学習の成果を海外の生徒に披露できます。生きた英語を学ぶとともに、英語の学習意欲の向上と探究的な学びを実現させます。日本にいながら、気軽に海外の同世代と交流できます！



評価自動化

Student Performance

生徒の練習データを可視化！

英語の4技能5領域においてSpeaking（発表およびやりとり）の評価付けは教員にとって大きな手間がかかっていました。システムを用いることで評価の判断材料となるデータを自動的に取得することが可能になり、教員の業務負担軽減に繋がります。



課題

- 1 自治体によって、海外留学や、PBLといった「英語を活用した探究活動」に取り組んでいるが、予算やプログラムの性質上ごく僅かな生徒にしか機会提供ができていない。
- 2 英語でアウトプットを伴う活動は教員による細かな指導助言が必要になるが、1人で40名の生徒指導を行うのは限界がある。また、パフォーマンステストの実施・評価づけは教員の負担が大きい。
- 3 教員の長時間労働は慢性的に問題視されている。「学校の働き方改革」が求められているが、新学習指導要領では従来よりも扱う内容が広がり、質の高い生徒指導・教科指導はICTの活用なしには困難

WorldClassroomによる解決策

授業を活用したオンライン国際交流により、生徒にひろくあまねく英語の探究活動機会を提供



音読・プレゼン練習・スコアリング機能によって英語が得意な生徒は自主的に学習を進め、教員は英語の苦手な生徒の指導に時間を使うことが可能に

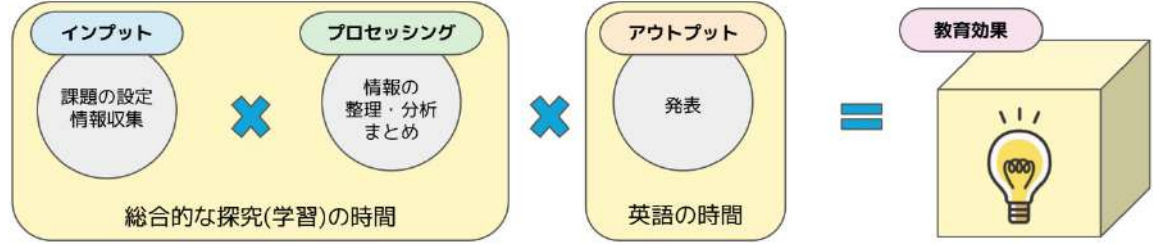


生徒の個別最適化された学習環境や、スコアリング機能による評価づけの自動化により、教員の業務負荷の大幅な縮減を実現



■ 探究的な学び支援補助金における活用場面

海外の生徒と共通のテーマで、調べ学習を行い、情報の整理・分析・まとめを行なった後に、英語の発表の練習を行い、オンライン国際交流にて英語で発表しました。



探究内容設定・調べ学習・英作文作成

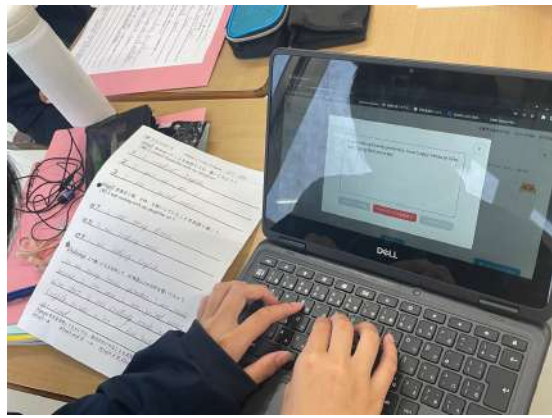
海外の生徒とオンライン国際交流に向けて、まずは総合的な探究の時間にて調べ学習を行います。例えば、地域の良いところや伝統行事をテーマに行いました。その際、自分が伝えたいことを海外の生徒の目線になって、どのような表現をすると関心を持ってもらえるか想像した上で、英語の授業にて英語でのプレゼンテーションを作成しました。

スピーキング練習

スピーキング練習機能を用いて、英語でのプレゼンテーションを練習します。スピーキング練習機能は、通常の英語の授業における教科書の音読練習などでも日常的に活用されました。WorldClassroomチャンピオンシップと題して、全国の導入校の生徒同士でスピーキング練習回数を競うイベントも実施しました。

オンライン国際交流

英語の授業あるいは総合的な探究の時間の中で、海外の学生と探究内容に関する相互発表・ディスカッションを行いました。沖縄とインドネシアの学校交流を実施した際に2カ国それぞれに「チャンプルー」が存在することから、両国の関係に疑問を持った生徒が両国の関係を更に調べることもありました。



国名	学校名	参加人数	練習回数	順位	賞品
インドネシア	PT SRIWIJAYA UNIVERSITY	10	100	1位	賞状、賞品
インドネシア	PT SRIWIJAYA UNIVERSITY	10	80	2位	賞状、賞品
インドネシア	PT SRIWIJAYA UNIVERSITY	10	60	3位	賞状、賞品
インドネシア	PT SRIWIJAYA UNIVERSITY	10	40	4位	賞状
インドネシア	PT SRIWIJAYA UNIVERSITY	10	20	5位	賞状
インドネシア	PT SRIWIJAYA UNIVERSITY	10	10	6位	賞状
インドネシア	PT SRIWIJAYA UNIVERSITY	10	5	7位	賞状
インドネシア	PT SRIWIJAYA UNIVERSITY	10	2	8位	賞状
インドネシア	PT SRIWIJAYA UNIVERSITY	10	1	9位	賞状
インドネシア	PT SRIWIJAYA UNIVERSITY	10	0	10位	賞状

導入数

30設置者（自治体及び私学）、60校
（中学校53校、高校7校 ※ 私立4校含む）

生徒27,671人にプログラム提供

満足度

アンケートに回答いただいた教員（89名）の

93.3%が教科指導や業務効率化に役立つツールと回答

来年度以降の

事業継続

（予算化）見込

30設置者中、12設置者（40.0%）

60校中、25校（41.6%）

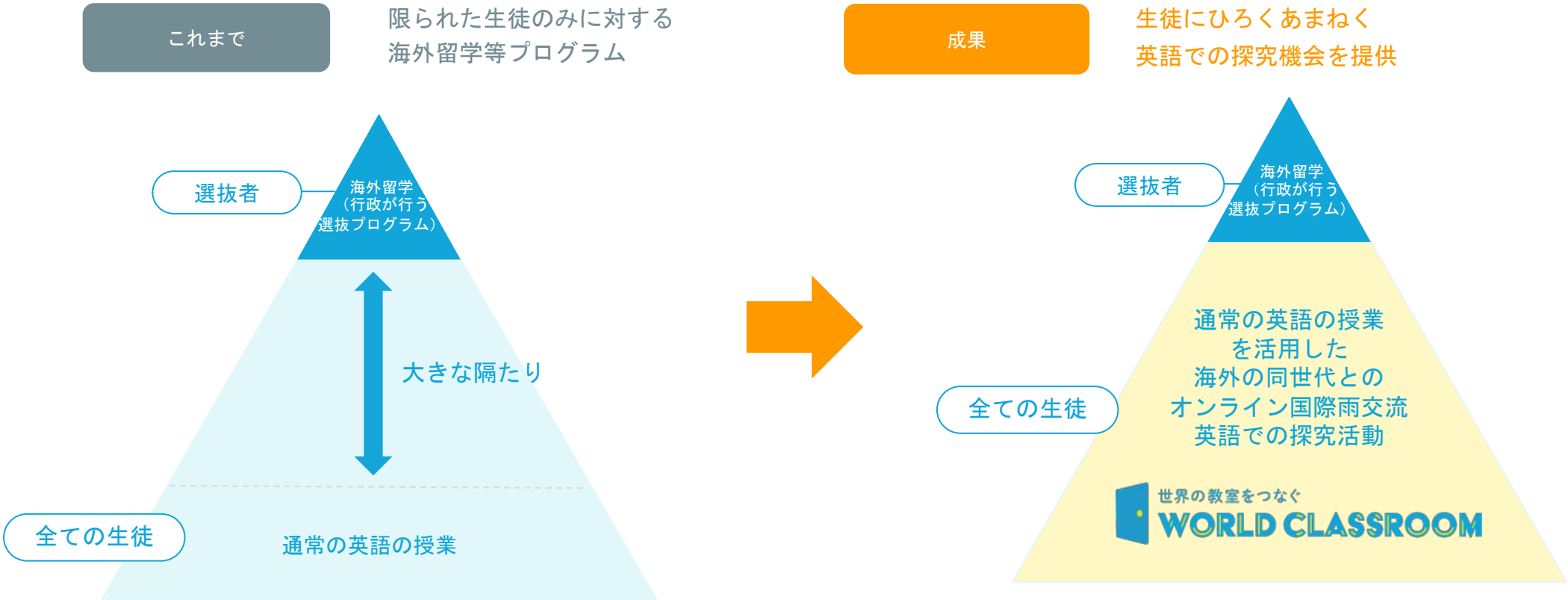
継続利用に向けて財政担当部署と調整中

※その他多くの設置者もR7年度に向けて調整中

■探究学習等サービス活用による成果

1 英語での「探究学習」機会を、ひろくあまねく提供可能に

WorldClassroomによって、これまで学校や自治体が希望者を募って選抜した一部の生徒のみにしか提供できなかった海外の方々との「探究学習」機会をクラス単位・学校単位で提供することが可能になりました。



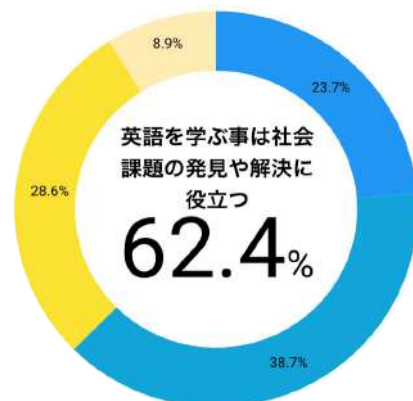
2 英語での「探究学習」を通じて総合学習・探究学習で目指す「**自己の生き方を考えるための資質・能力**」が向上

地域の特徴、両国の食文化の違い、地域のSDGsに向けた取組等について探究し、実際に海外の生徒に探究した内容について英語で発表・意見交換することで、海外志向性や、地域課題解決や自らの将来に今まで以上に関心を持つようになりました。

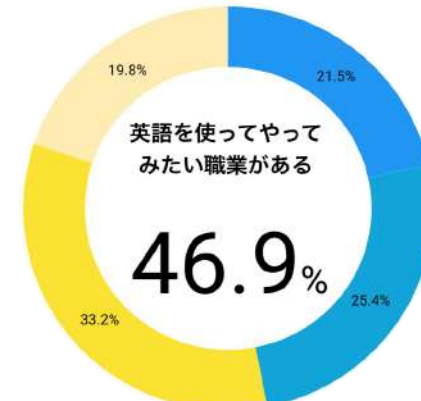
導入実証前



17.1% 向上

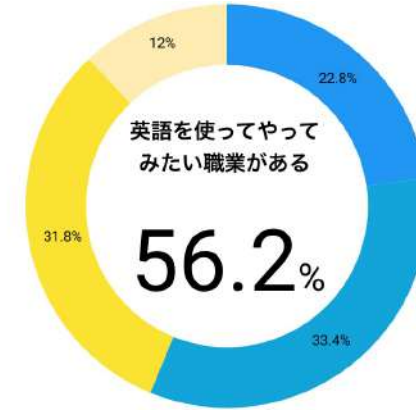
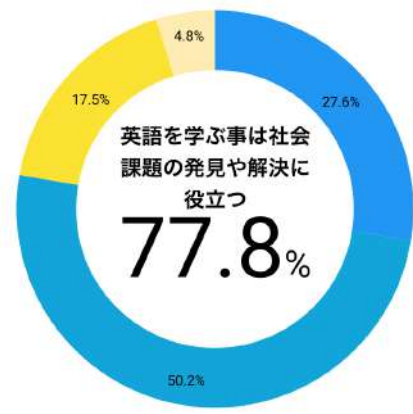
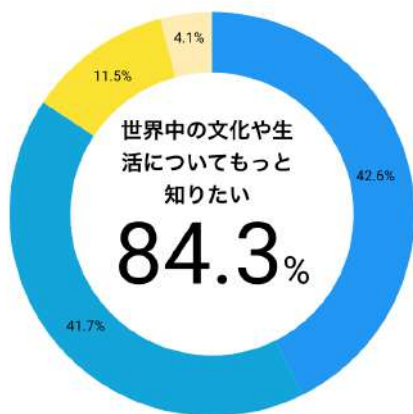


15.4% 向上



9.3% 向上

導入実証後



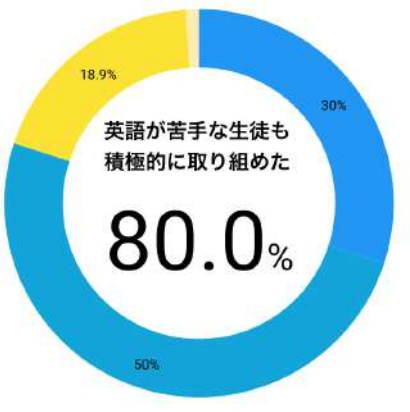
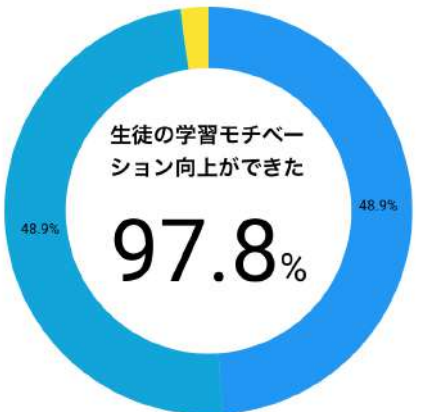
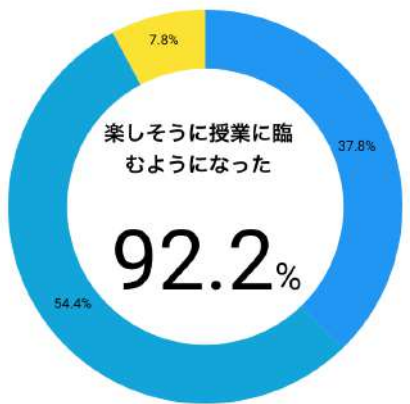
● 1.とてもそう思う ● 2.そう思う ● 3.そう思わない ● 4.全くそう思わない [生徒向けアンケート回答人数]：導入実証前アンケート 11,928件、導入実証後アンケート 4,449件

3 生徒の英語学習への主体性・学習意欲が大幅に向上

海外校との交流を通じた生きた英語に触れる機会、ツール活用による個別最適化された学習環境が生徒に好影響を与えました。

教員アンケート

生徒アンケート



● 1.とてもそう思う ● 2.そう思う ● 3.そう思わない ● 4.全くそう思わない

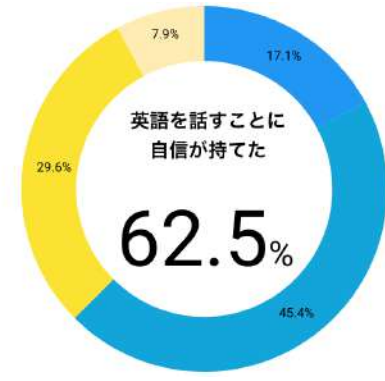
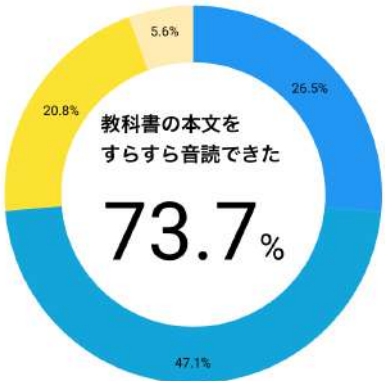
[生徒向けアンケート回答人数] : 導入実証前アンケート 11,928件、導入実証後アンケート 4,449件 [教員向けアンケート回答人数] : 89件

■探究学習等サービス活用による成果

4 英語学習実践の場としての国際交流を見据えた授業実践ができ、実用性の伴った英語力が向上

自分自身・地域・学校等身の回りのこと等を伝えることや、コミュニケーションを通じて相手のことを理解する経験やその準備としての英語教科学習を通じて4技能5領域が向上しました。

生徒アンケート



● 1.とてもそう思う ● 2.そう思う ● 3.そう思わない ● 4.全くそう思わない

教員アンケート



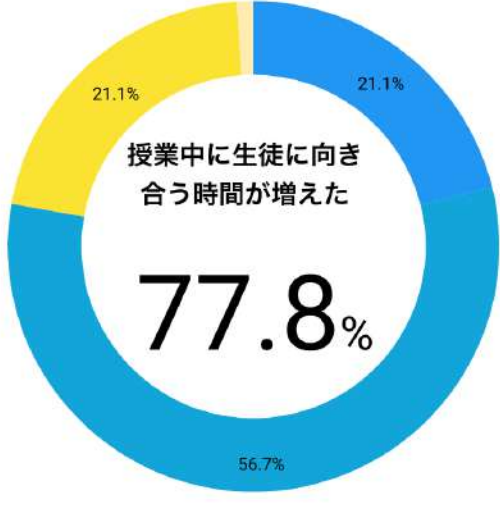
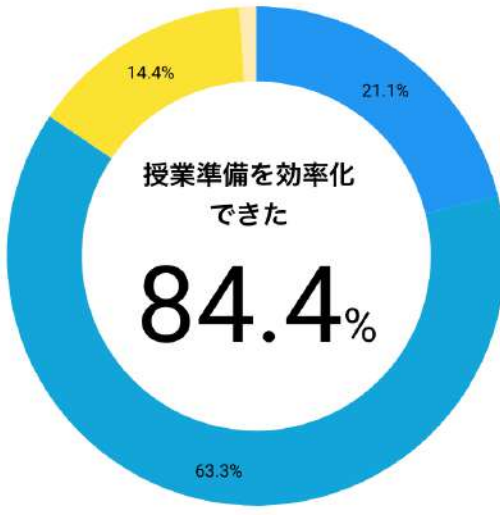
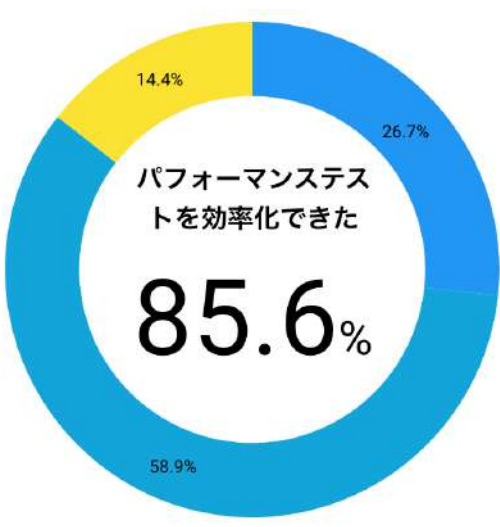
[生徒向けアンケート回答人数] : 導入実証前アンケート 11,928件、導入実証後アンケート 4,449件

[教員向けアンケート回答人数] : 89件

5 授業準備・評価づけ、教科指導を効率化。教員の業務負担縮減に寄与

これまで多くの時間を要していた英語の授業におけるアウトプット活動の評価づけ（パフォーマンステストなど）を効率化。働き方改革に繋がりました。

教員アンケート



● 1.とてもそう思う ● 2.そう思う ● 3.そう思わない ● 4.全くそう思わない

[教員向けアンケート回答人数] : 89件

■サービスを活用するにあたっての課題とその改善策

解決すべき課題

英語での 探究学習機会 の制限

- 海外の学生とオンライン国際交流を通じた英語での探究学習は、国際的な視野を広げる他、地域・国内の文化や歴史・経済など様々な事柄について関心を高める効果がある一方で、予算の都合上、国際交流の実施回数には制限があり、**頻度の高い交流を実施したい学校・教員・生徒のニーズを満たせていません。**

不安定な 通信環境

- 一部の学校では複数クラスでの端末利用または悪天候時には**通信速度が著しく低下することがあります。**（国内のみならず、海外も同様です）
- 英語のEdTechツールの場合は、音声の出力・入力のために**イヤホン・マイクが必要**ですが、端末は配布されていながらも、イヤホンが配布されていない学校がほとんどです。

解決策

教員・生徒 への交流機会 増加のための サービス拡充

- 国際交流頻度を高めるために、生徒数が同等規模の**国内と海外の学校で連携協定を結び、年間スケジュールを予め立てて、国際交流を実施**できるように現在調整を進めています。
実際にインドネシアでは、**現地の教育省と連携し、**学校に対して説明会を実施して、学校単位（全クラス）でのWorldClassroomへの参画する学校を増やしています。

英語での 「探究学習」 を支える インフラ強化

- 通信環境が悪い学校は、**教育委員会のICT担当と連携し、ルーターなど通信インフラの確認・設定変更・機材の買い替えなどの調整を行なうことで、通信環境の改善を図ります。**
- 多くの学校では**学校予算あるいは教材費でイヤホンマイクの調達を検討**しています。予算が不足する場合には、イヤホンマイクを個人所有している場合にはそれを活用し、持っていない生徒分のみ授業に限り貸し出すなどの対応を検討します。

教員のコメント

- 授業中、周りに人がいる中で英語を話すことに抵抗を感じてしまい、うまく話せない生徒が、**家庭学習で音読練習に取り組んでくれた**ことがとてもうれしかったです。また、WorldClassroomによるスコアリングで90点以上を獲得した生徒を褒めるととてもうれしそうにしていました。**教師以外の客観的な評価が、生徒のモチベーション向上にとっても役立っている**と感じました。
- WorldClassroomチャンピオンシップで上位を目指す授業中宣言した**生徒が自宅でも取り組み、部活の朝練前にも取り組んでいることを聞いた別の生徒が僕も挑戦しようと思うと報告に来てくれた**。最終的に前者の子は全国2位に、後者の子も10位内に入賞することができた。これとは別にまた同じクラスの生徒が100位以内に3人も入っていて、良い雰囲気になった。
- 今までプレゼンテーションやスピーチの原稿を作っても、自分で発音がわからないから結局本番になっても力を発揮することができない生徒も、**自信を持って自分の発表をすることができるようになった**。国際交流で話す内容も**事前に発音確認などができたことから、国際交流に後ろ向きな生徒も、少し前向きな気持ちで挑むことができていた**。
- オンライン国際交流に関して、大変感謝しています。様々な国の生徒と交流を持つことで**生徒の英語学習に対するモチベーションがあがり、多文化に対する理解を促進するきっかけになった**と思います。

生徒のコメント

- 海外の人と関わることは多くないから、すごく刺激的で楽しかった。反対に**自分の英語力の足りない所がよくわかった。もっと英語を使って、勉強もして、いつか直接会ってで一緒にお互いの文化を紹介できるようになりたい**。
- 質問などのアドリブ力が必要なときはとても難しく、なんて答えたらいいのかわからなかった。**英語での急な質問に答えられるように分かる単語を増やして行きたいです**。
- 今回、インドの生徒と会話をして英語でコミュニケーションを取ることができ、思い出になりました。この取り組みをしたおかげでもっとアウトプットしたいなと思うことができたし、このおかげで**アウトプット出来る環境ってこんなにも大切なんだなと思いました**。
- 楽しかったです。**日本のことを伝えることができたのと、相手からも関連した台湾のことを教えてもらって、台湾にもっと知りたいと思うようになりました**。ついて意味のある交流だったなと思います。

会社名 HelloWorld株式会社 (HelloWord Inc.)
所在地 沖縄：〒904-0004 沖縄県沖縄市中央1-7-8
関東：〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-5 S-TOKYO内

連絡先 wc_support@hello-world.city

資本金 1,000,000円

主要取引先 WorldClassroom
(導入校) 全国の教育委員会管轄の中学校・高校、及び私立学校 等

まちなか留学
全国の教育委員会管轄の中学校・高校及び私立学校
大手教育旅行代理店・留学エージェント 多数 等

代表者 代表取締役 野中 光
代表取締役 富田 啓輔 (弁護士)

取締役 取締役 上里 幸俊 (沖縄市市役所において部長職を歴任)

- 事業内容
- まちなか留学
 - SDGS 推進/国際交流
 - 世界の学校を繋ぐ WORLDCLASSROOM
 - グローバル人材育成事業コーディネート

国内在住外国人宅ホームステイ
マッチング事業



世界の教室をつなぐ英語教育DX
プラットフォーム

